

【島のくらしの情報】

久米島

<p>①仕事（収入）の状況</p>	<p>島ぐらしコンシェルジュが運営する「久米島 島ぐらしガイド」では、島内の求人情報を掲載しています。 レンタカーやリゾートホテル、ドラッグストアやスーパー、化粧品会社、介護支援員などパートから正社員まで様々な仕事を掲載中です。 ●久米島 島ぐらしガイド … URL http://www.shimagurashi.net/ ☎ 098-894-6488</p>
<p>②住居の状況（貸家、空き家など）</p>	<p>島内にはアパート、空き家が多数あります（多くが、改修が必要なもの）。民間の不動産屋が3軒あります。 ・（株）久米島リゾート不動産 … URL http://www13.plala.or.jp/kumerizo/index.html ☎ 098-896-8022 ・久米島不動産 … URL http://www.eef.jp/house/index.html ☎ 098-896-8206 ・久米総合開発株式会社 … URL http://kumesougoukaihatsu.com/ ☎ 098-985-3254 また、島ぐらしコンシェルジュが運営する「久米島 島ぐらしガイド」では、島内の空き家情報を掲載しています。 一軒家は人気が高く、掲載すると問い合わせが多数来ます。 ●久米島 島ぐらしガイド … URL http://www.shimagurashi.net/ ☎ 098-894-6488</p>
<p>③医療環境の状況</p>	<p>・島には診療所が1軒、歯科診療所が2軒、公立病院が1軒あります。急患については、公立病院が24時間対応可能です。 公立病院の診療科目は、内科・小児科・整形外科・外科・精神科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・皮膚科・産婦人科です。 ・急患はヘリコプターで沖縄本島の総合病院へ搬送しています。 ・公立病院では、週に一度妊産婦の検診が受けられます。島内では出産はできないので、妊産婦に対して町より助成金（一律15万円）を支給しています。 ●お問合せ 福祉課 ☎098-985-7124</p>

<p>④福祉環境の状況</p>	<p>【保育所】町営保育所1ヶ所（月～土 7:30-6:30 一時預かり有） 民営保育所3ヶ所（月～土7:30-6:30 一部延長保育有・一部子育て支援センター併設） 家庭的保育事業1カ所（月～土7:30～6:30）</p> <p>【老人・福祉施設】デイサービス事業所5ヶ所、特養老人ホーム2ヶ所、グループホーム1ヶ所あり、各種サービスを提供しています。 ※その他、独居老人・老人世帯対象に配食サービスを実施しています。</p> <p>【地域包括支援センター】権利擁護事業・体操教室</p> <p>●問い合わせ 福祉課 ☎098-985-7124</p>
<p>⑤教育環境の状況</p>	<p>・島内には、小学校が6校（比屋定小学校・大岳小学校・清水小学校・仲里小学校・久米島小学校・美崎小学校） 幼稚園は2校 中学校が2校（久米島西中学校・球美中学校） 県立高校が1校（久米島高等学校）があります。久米島高校では、島外からの入学生を受け入れる「離島留学」を行っています。 離島留学生は「じんぶん館」という町営塾が併設された寮で共同生活を送っています。 また、高校生向けの町営塾として「久米島学習センター」が平成27年度に開設されました。</p> <p>●問い合わせ 久米島町教育委員会 ☎098-985-2287 沖縄県立久米島高等学校 ☎098-985-2233 （離島留学について）企画財政課 ☎098-985-7122</p>

<p>⑥上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>【水道】 島内の水道利用状況（普及率）はほぼ100%です。 島内には3つの浄水場があります。</p> <p>●問い合わせ：久米島町上下水道課 ☎098-985-2066</p> <p>【ガス】 ガスはプロパンです。（島内には、農協ガス・久米島ガスの2社が営業しています）</p> <p>【電気】 電気は、島内にある火力発電所を利用しています。（沖縄電力株式会社）</p>
<p>⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）</p>	<p>【空路】 那覇空港より約35分、1日に約7便就航しています。 夏場（7月中旬～8月末）は東京直行便が1日1便往復しています。 航空運賃は、那覇より通常料金、片道¥12,100（ただし、久米島町に住民登録がある場合は、離島カード発行により¥5,100）</p> <p>【航路】 那覇泊港より久米島兼城港へ約3時間30分（渡名喜港寄港の場合は約4時間） （株）久米商船のフェリー久米島とフェリー琉球が交互に運行、1日1往復（1日2便） 運賃：片道¥3,390 往復¥6,450 離島割引：往復¥4,600</p>

<p>⑧島内の交通手段（費用、便数など）</p>	<p>島内には町営バスが走っていますが、便数が少ないです。島内をあちこち回りたいなら、レンタカーかレンタルバイクがおすすめ。 レンタカーは12時間で約5000円、レンタルバイクは12時間で約3000円。 タクシー会社は2社。観光タクシーもあり、3時間で約10,000円。 ただ、ホテル、民宿等の多いイーブビーチ周辺へ宿泊する場合、居酒屋、ビーチ、コンビニといった場所が徒歩圏内にあるので、「2泊の場合の場合、一日だけレンタカーを借りる」等の方法もよいかもかもしれません。</p>
<p>⑨買い物場所・物価の状況</p>	<p>島内にはスーパー兼商店が5、6店舗、コンビニ（ファミリーマート）が2店舗、大型ドラッグストアが1店舗あります。そのほか、地域には「まちやー」と呼ばれる小さな商店がいくつかあります。 「山里ゆんたく館」という、野菜の直売所もあります。 物価は沖縄本島に比べて、輸送コストがかかるために割高となっています。</p>
<p>⑩これまでの移住実績</p>	<p>久米島への移住者受け入れの歴史は古く、110年前には火山島である硫黄島から島民のほとんどが久米島へ避難移住してきました。移住してきた住民は「鳥島」という集落をつくり、島の文化と混ざり合いながらも、方言や行事など、独自の文化も残っています。 また、福島からの子どもたちの保養施設「沖縄・球美の里」では、定期的に母子の団体が保養に訪れています。町内の各イベントでは、保養の親子と島人が交流する姿もみられています。 久米島高校魅力化プロジェクトの施策の一つである「島外からの離島留学制度」は4年目となり、島の高校生とお互いに刺激し合いながら、和気あいあいと通っています。 このように、久米島は「外から来た人を受け入れる素養」を持っている島です。 島ぐらしコンシェルジュが活動を始めてからは、5か月で約50件の移住相談があり、メール等で継続的に情報提供行っています。 相談を受けた方のうち、3人が移住決定です。（2016年10月現在）</p>

<p>⑪移住を希望される方の短期滞在、 下見に対する支援の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンスリー・ウイークリーコテージ…「マンタの部屋」 ・ 家具付きアパート、マンション…「グリーンビュー久米島」「與那城アパート」 ・ ホテルのウイークリールーム…「ガーデンヒルズ」 ・ その他、民宿やドミトリーに長期滞在契約する方法もあり（要交渉） <p>下見については、島ぐらしコンシェルジュにご相談ください！ お問合せ…島ぐらしコンシェルジュ ☎098-985-7122</p>
<p>⑫移住にあたっての支援の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島ぐらしコンシェルジュが、「しごと」「住宅」「くらし」など、移住に欠かせない生活の基本となる情報を収集、発信することで、あなたの移住をサポートします！ ・ また、移住した後も地域とうまくなじめるような支援をいたします
<p>⑬そのほか島での暮らしぶりについて 伝えておくべき必要な情報</p>	<p>平成28年度に、「久米島ドリー部チャレンジ（久米島町移住・定住推進アクションプラン）」を策定しました。 町民・行政・議会が「誰もが生き生きと暮らせる島づくり」のために協力して活動しています。 住民チームの中には、移住者が地域に馴染むのを手助けする「定住サポーターズ」もあります！</p>